

# 施策マネジメントシート（令和 4 年度目標達成度評価）

第2次 総合計画 体系	政策 No.	4	政策名	みんなが健やかで 生きがいを感じるまち
	施策 No.	2	施策名	生涯学習・生涯スポーツの充実
施策主管課	生涯学習課	施策関係課名	文化課・総合戦略課・国民スポーツ大会推進課・健康増進課	

## 1 施策の目的（①対象③意図）と指標（②対象指標④成果指標）等の推移

①対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		③意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)						
市民		<ul style="list-style-type: none"> <li>目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯学習及び生涯スポーツに取り組む</li> <li>学習成果を生かし、伝える</li> </ul>						
④成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	数値区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	成果指標の達成状況及び要因
1	目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	目標値	36.0	38.0	40.0	42.0	1) 2) 未達成。コロナ禍で自粛されていた取り組みが、徐々に再開できており回復の傾向にあるが、年代別に見ると60代以上の半数以上が自発的・自主的に取り組めていないと回答している。コロナ禍による生活スタイルの変化が生涯学習・生涯スポーツ活動意欲の低下に起因しているものと思われる。 3) 未達成。コロナ禍による自粛が緩和されてきており、幼稚園や小学校等への講師派遣等の訪問はできつつあるが、令和4年度は高齢者福祉施設等への訪問ができていないため、実績が伸び悩んだ。
			実績値	31.2				
			達成率	86.7%				
2	目的を持って、継続して自発的、自主的に生涯スポーツに取り組んでいる市民の割合	%	目標値	33.0	42.0	47.0	50.0	
			実績値	30.6				
			達成率	92.7%				
3	文化人財バンクの派遣件数	件	目標値	200	300	350	400	
			実績値	152				
			達成率	76.0%				
4			目標値					
			実績値					
			達成率					
5			目標値					
			実績値					
			達成率					

## 2 施策（基本事業）の振り返り

基本事業	(施策の目標達成に向けて、どのように取り組んだか。)
生涯学習・生涯スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートを実施し、令和5年3月に「第2次小城市生涯学習推進計画」の次期計画となる「第3次小城市生涯学習推進計画」（計画期間：令和5年度～令和9年度）を策定した。</li> <li>市民が自発的に学習・スポーツ活動が行えるよう、SAGA2024国民スポーツ大会会場の芦刈文化体育館の大規模改修のほか、施設等拠点の整備（修繕、改修等）を行った。また、学習・スポーツに取り組む機会を提供するため、高齢者学級や体験教室、スポーツ教室や大会等を開催した。</li> <li>図書館においては、読書活動の啓発のため、「うちどくノート」を市内小学生以下の子どもたちに一人一冊配布した。</li> </ul>
自主的な取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な取り組みの成果を市民へ還元するため、市報への掲載ほか学校・幼稚園等への訪問により、文化連盟が設ける地域の文化芸術活動をサポートすることを目的とした講師等派遣制度である「文化人財バンク」制度の周知活動を行った。</li> <li>スポーツ分野における指導者やボランティアへの研修はコロナ禍のため中止したが、子どもたちが本来あるべき姿勢や、子どもたちに密接に関わるスポーツの指導者・保護者などが指導上配慮すべき基本的事項について取りまとめた「小城市少年・少女スポーツ活動の指針」を令和4年10月に改定し、指導者や保護者へ周知した。</li> </ul>

## 3 施策の課題（基本計画で掲げた施策の「現況と課題」、成果指標の達成状況を踏まえて、次年度以降に向けた施策の課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策の緩和により、中止となっていた講座や行事等が徐々に再開されてきているが、コロナ禍による生活スタイルの変化等の影響により、以前のよう生涯学習・生涯スポーツ活動への参加が見込めないため、活動意欲の低下に対する対策を含めた事業実施の検討が必要である。</li> <li>図書館も同様に、コロナ禍以前の利用者数に達していないため、来館を促すようなイベントなどを通じて利用促進につなげていく必要がある。</li> <li>生涯学習・生涯スポーツの自主的な取り組みの成果を地域社会の活性化につなげていくため、文化連盟やスポーツ協会等と連携し、文化人財バンクやスポーツ教室、各種大会等への支援に努めていくとともに、新たな人材の確保、育成に取り組む必要がある。</li> </ul>
---

## 4 今後の取り組み（課題解決に向けた今後の取り組みの方向性・内容等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>講座や教室等の参加者にアンケートを実施し、魅力ある取り組みにつなげていく。</li> <li>スポーツに取り組むきっかけづくりを行うため、既存事業（トップアスリート交流事業等）を充実させ、「する」「みる」「ささえる」の立場でスポーツに関わることができるようにする。このため、旧町の町民運動会に代えて、小城市スポーツレクリエーション大会（R5～新規）の開催に向けて取り組んでいく。</li> <li>図書館においては、資料の充実やイベント等の実施により利用促進に取り組んでいく。また、読書活動推進のため、今後も「うちどくノート」の配布を継続していく。</li> <li>令和5年度完成予定の小城市フットボールセンターを拠点として、市民が運動やスポーツを通して健康づくりにつながるよう横断的な連携を図っていく。</li> <li>令和6年10月開催のSAGA2024国民スポーツ大会を契機として、市民にスポーツに対する気運の醸成を図るため、県内のトップチーム（プロチーム）と連携し、スポーツ教室や体験教室を実施し、競技人口の拡大や競技力の向上に努めていく。</li> <li>文化人財バンク制度や市スポーツ協会主催事業等を引き続き支援するとともに、市報等で市民へ更に周知することで、組織の人材確保、育成に努めていく。</li> </ul>
--